

# ワタルとミティの ぼうけん・2

航(わたる) & あめのひかり:作



ワタルです！

ぼくは、8さいのなつ、パパとマ

マといっしょに、たのしく<sup>なつやすみ</sup>夏休み  
をすごしています。

<sup>みなみ</sup>南<sup>しま</sup>の島で、<sup>うみ</sup>きれいな海<sup>およいで</sup>で泳いで、  
ウミガメともあったよ！！



ぼくは、<sup>うみ</sup>海<sup>だいすき</sup>が大好きで、<sup>さかな</sup>魚<sup>だいすき</sup>が大好き

で、<sup>しょうらい</sup>将来は、<sup>さかな</sup>お魚<sup>そだて</sup>を育てたり、<sup>けんきゅう</sup>研究

したり・・・そんな仕事しごとをしたいと  
思ってるんだ！

その南みなみの島しまで、不思議ふしぎなことがあっ  
たんだよ。

はじまり、はじまり・・・。

.....  
海岸かいがんのゴツゴツした岩場いわぼに、洞窟どうくつが  
あります。

そこは、光ひかりがさしこむ角度かくどがかわる  
と、水みずが、とっても青あおくくかがやきま

す。

ワタルは、そのぼしょだいすきが大好きになりました。

なんだか、別べつの世界せかいにいるような、  
ふしぎきぶんな気分になりました……。

そのとき、どこからか、とてもきれ  
いな音楽おんがくが聞こきこえました。

音楽おんがくといっても、ワタルが今いままで聞き

いたことがないような、ふしぎおとな音

です。楽が器っきでもなくて、声こえでもなく

で、「とっても好きとおおとってる音」で  
す。

ワタルの<sup>あたま</sup>頭に〈クリスタル〉って

ことば<sup>うかびました</sup>言葉が浮かびました。

そして、なにかの<sup>あんごう</sup>暗号か、メッセージか、<sup>わから</sup>分からないけど、そんなかんじもするのです。

すると、ワタルのあたまたに、むずかしいことばが浮かびました。

「<sup>わたし</sup>私は、あなたの、<sup>かこ</sup>過去であり、<sup>みらい</sup>未来であり、<sup>げんざい</sup>現在である」

とうかびました。

むずかしいけど、その<sup>い み</sup>意味しっているとかんじました。

そのとき、<sup>しろ</sup>白くかがやく<sup>ひかり</sup>光が<sup>み</sup>見えま  
した。

それは、だんだん、なにかの<sup>かたち</sup>形にな  
っていきます。

そして、ユニコーンになって、あら  
われました。

そして、ワタルはこころのことばで  
<sup>はなして</sup>話していました。

ワタル「いまのために、<sup>みらい</sup>未来からや  
ってきて、<sup>じゅんび</sup>準備してきたっていうこ  
と？うーん・・<sup>しんじ</sup>信じられないな  
あ・・・」

ミティ「ぼくのなまえも、『<sup>みらい</sup>みらい』  
といういみだよ。ふしぎで、<sup>しん</sup>信じら  
れないことも、<sup>ほんとう</sup>本当にあるんだよ。」

とつぜん、<sup>め</sup>目のまえに、<sup>とびら</sup>扉があらわ  
れました。

ミティ「この<sup>とびら</sup>扉をひらくことは、じ  
ぶんのハート（こころ）の扉（とび

ら)、ゲートをひらくことだよ！！」

<sup>とびら</sup>扉が<sup>ひらき</sup>開き、<sup>なか</sup>洞窟の中は、あたりいち  
めん、まばゆい<sup>ひかり</sup>光でいっぱいになります。

あっというまに、<sup>ひかり</sup>光でいっぱい。  
すべてをつつむ、<sup>うちゅう</sup>宇宙のおかあさん  
のようなあったかい、<sup>ひかり</sup>光です。

そこから、ワタルが<sup>み</sup>見たのは、ママ  
がよんでくれた、<sup>にほん</sup>日本の神話（しん  
わ）かみさまたちのおはなしの、<sup>えほん</sup>絵本



のような<sup>せかい</sup>世界でした。

いっしゅんなのに、<sup>なんおくねん</sup>何億年も、ずっと  
とずっと<sup>たび</sup>旅をしてきたような、ふし  
ぎなかんじでした。

そして、<sup>き</sup>気がつくと、<sup>いま</sup>今のぼしょに  
もどって（そのまま<sup>うご</sup>動かなかったの  
ですが）いました。

<sup>たの</sup>楽しそうに、<sup>みず</sup>水にうかぶ<sup>おとうさん</sup>お父さんが、  
ワタルをよんでいます。

<sup>き</sup>気がつくと、ほっぺたがめれていま

す。

よこをみると、ママも泣ないいてていました。  
た。

そして、

ワタル「ママ、いこう！」

と海うみに入はいってっていきました。

ワタルは、あとから思おもいいだだししててみて、  
ここうう思おもいいました。

「ぼくは、今いままでのぼくとおんなじ  
だけど、一つちがうのは、“愛”が何  
かが、なんとなくわかったんだ。

ぼくは、ただ、<sup>いま</sup>今をワクワク、<sup>たのし</sup>楽しく、  
<sup>いき</sup>生きていくこと！！

それが、ぼくが、<sup>あい</sup>“愛”になるってい  
うことかな？！

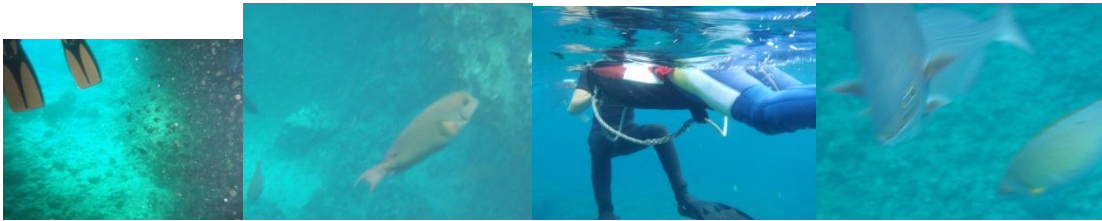
いつも、それを、えらんでいくこ  
と！！

そして、<sup>おおきく</sup>大きくなったら・・・ぼく  
<sup>こども</sup>の子供に、それを、<sup>おしえて</sup>教えてあげるん  
だ！！

そして、みんなが、そうやって、た  
<sup>にん</sup>いせつな人に<sup>つたえて</sup>伝えていけば、

そうすれば、この<sup>せかい</sup>世界は、<sup>ちきゅう</sup>地球は、  
すばらしい、「<sup>あい</sup>愛の<sup>ほし</sup>星」にかわってい  
くとおもおうよ！！」

おわり



## さつえい:ワタル&あめのひかり

このおはなしは、めいそう中に感じたこと、じっさいの  
のたいけんをもとにした、フィクションです。

あめのひかり&航のクリスタル Web

<http://nmcaa-amenohikari.jp/unicorn/index.html>

あめのひかり&航のクリスタルブログ

<http://nmcaa-ahikari.jugem.jp/>